

## 第1回大分市文化芸術振興プラン策定委員会概要

項目	内容
開催日時	平成25年5月27日(月) 9:50~<委嘱状交付式> 平成25年5月27日(月) 10:00~<第1回委員会>
会場	大分市役所議会棟4階 全員協議会室
出席者 (交付式)	釘宮市長、荒金委員、菊田委員、佐藤(晃)委員、首藤委員、椋野委員、八坂委員、吉田委員、玉衛教育部長、澁谷企画部次長(佐藤部長代理)
出席者 (委員会)	菊田委員、佐藤(晃)委員、首藤委員、椋野委員、八坂委員、吉田委員、玉衛教育部長、澁谷企画部次長(佐藤部長代理)
次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 文化国際課長あいさつ</li> <li>3 委員の自己紹介</li> <li>4 事務局の紹介</li> <li>5 議題 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 委員長及び副委員長の選任について 委員長及び副委員長あいさつ</li> <li>(2) 会議の公開・非公開の取り扱いについて</li> <li>(3) 大分市文化芸術振興プランの策定趣旨について</li> <li>(4) 他都市の策定状況について</li> <li>(5) 策定委員会の役割について</li> <li>(6) 策定までの流れとスケジュールについて</li> <li>(7) プラン骨子の作成について</li> </ol> </li> <li>6 その他 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 次回策定委員会の日程について</li> <li>(2) その他</li> </ol> </li> <li>7 閉会</li> </ol>

### 【概要】

#### 1. 委嘱状交付式

■委嘱状交付(釘宮市長⇒委員代表として椋野委員へ)

■釘宮市長あいさつ

▽ご就任いただき、誠にありがとうございます。

▽今回策定する「文化芸術振興プラン」は、文化・芸術のさらなる振興を図るとともに、文化・芸術を地域経済の活性化にも寄与する貴重な地域資源として位置づけることをめざしています。



ば、なおいいと考えている。検討していただければ。(委員)

⇒可能であれば、策定委員会として施設を見に行き、施設管理者に話を伺うようなことも開催状況を見ながら検討していきたい。(事務局)

■ヒアリングの対象は、候補を委員に早めに示した上で、加除について意見を求めた上で実施していただきたい。(委員長)

④プラン骨子のなかに「文化芸術」「芸術文化」「文化・芸術」「文化だけ」「芸術だけ」などのいろいろな表現がある。文化と芸術を包含する形で整理すべきではないか？(委員)

「2(2)文化資源」で挙げられているものが、「4 施策の方向と主要施策」にうまく反映されているのかどうか？(2)①の「芸術(アート)文化」が中心になっていて、その他のものがうまく盛り込まれるのかどうか、検討される必要があると考える。せっかくある文化資源をどう活かすのかというところを詰めていかななくてはならないと考えている。素案作りの際に検討いただきたい。(委員)

⇒詰めの良いところもあるので、もう一度精査したい。言葉の定義や文化資源と施策のあり方については、改めて骨子の並びなどをよく検討して提示させていただきたい。(事務局)

⑤2(2)①で「アート」とあるが、これだと「美術」のイメージがついてしまう。「アーツ」という複数形で表示した方が限定されなくていい。(委員)

⇒適正な使い方に努めたい。(事務局)

⑥2(2)④に国の文化芸術振興基本法には「スポーツ」が出てくるのだろうか？そこの取り扱いをどうするのか疑問がある。(委員)

⇒国の文化芸術振興基本法には「スポーツ」という概念は出てこない。大分市には4つのプロスポーツチームがあり、スポーツ観戦とそこからのまちづくりという点で、大分市の特性とすることが可能ではないかといった思いも含めて挙げている。

ただ、教育委員会では別途「スポーツ振興計画」を作って「ホームタウン推進」という点でうたわれているし、大分市総合計画や各種個別計画との関係を明確にする、というところからも委員会でご議論いただきたい。(事務局)

⑦プロスポーツを文化振興計画に入れているような自治体はあるのか？(委員)

⇒調べた範囲では、スポーツを文化芸術振興プランという範疇で捉えているものはなかった。大分市としても「文化芸術振興」の範疇で捉えるのか、「スポーツ振興計画」という別の範疇で捉えるのか？現実問題として「スポーツ振興計画」の中にプロスポーツに言及した部分があるので、こちらのプランに持ち込むのか、スポーツ振興計画に任せるのかといった部分も含めて整理の仕方に因るだろう。

(事務局としては)今のスポーツ振興計画にあるものをそのまま引用する中で、それぞれの計画の位置づけを整理すればいいのでは、と考えている。またスポーツを入れることが大分市の特性になると考えている。(事務局)

⇒スポーツに関しては、スポーツ振興計画には確かに触れているが、(文化芸術振興プランでは、)それを文化に仕立て上げるとか育て上げる、といった姿勢で盛り込むのが非常に重要になると思う。スポーツ振興計画と同じようなものをフレーズで(文化芸術振興プラン)に載せるということだけではなく、スポーツ観戦を文化に引き上げていく、という観点で記述すれば、大分市の文化の独自性というものも出てくるだろう。(委員)

⑧福祉に芸術が欠かせないように、芸術にも福祉が欠かせない。「4 施策の方向と主要施策」に「福祉」という言葉も入れていいのでは？(委員)

⇒「福祉」という項目を作るのがいいのか、福祉の観点からそれぞれの項目に文章化するのでもいいのかも含めて、まとめていきたい。(事務局)

⑨大分は「西洋音楽発祥の地」であると同時に「西洋演劇発祥の地」でもある。演劇の部分も大分の特性として、どこかに出てきてもいいのではないかと？(委員)

⇒「舞台芸術」という中に含まれるところもあるかと思うが、「演劇」も大分の特色として盛り込んでいければ、と考えている。(事務局)

⑩施設のヒアリング対象として県の施設なども入るということであるから、「5 (2) 主な拠点施設」にはそうした施設も盛り込むべき。(委員)

⑪国は「心の豊かさ」だけでなく「地域経済の活性化」といった観点も文化芸術に求められるということで方針にも入っているが、大分市として、「文化芸術が大切だから」というだけでなく、「なぜ文化芸術が必要か」、「この段階でプランを作って文化芸術を振興することがなぜ必要か」ということを考える必要がある。

「人材を育成する」、「まちづくりに役立てる」、「発信力を高めて都市の魅力を高める」といったことの前段として、「大分市の現状がこうだから、こういった方向に進めていきたい」「そのために文化芸術をこういう風に役立てる」、「そのためには文化芸術をこんな方向に持っていく」といったことを考えると説得力が高まる。せっかく今作るので、そういうものがあれば、と考える。(委員)

⇒厳しいこの時代のなかで、文化芸術を振興するにあたって、そうした点が一番重要になってくると感じている。庁内検討会議で整理をして、改めて策定委員会にお諮りしたい。(事務局)

⑫「大分市ならではの特性」というなかで、市民に目を向けて、どういう人柄の人が多いか、といったことを調査できれば、面白いものができるのでは？年齢や男女比を踏まえた上で「どういったことに興味があるか」といった「ひと」の方面

から見た調査ができればいいな、と思う。(委員)

⇒調査に関しては、スケジュール的にも厳しいものがある。既存の調査結果やデータの中で、使えそうなものがないか調べる一方、文化芸術関係団体等のヒアリングの中で、実際に活動されている方の率直なご意見を頂いて、蓄積していければ、と考えている。(事務局)

⑬本市として、大友宗麟を旗印としてまちづくりを進めており、大友館の調査・保存や、小学校6年生向けの副教材を作成するなど、大友宗麟を一つの文化資源として全国に発信していければと思っている。(事務局)

⇒文化は目に見えない。それを市民や今後文化を担う子どもたちにどう伝えていくのかは大事。

大友宗麟個人というよりも、宗麟を一つの柱として、いろんなことを考えていくことは、わかりやすさという観点からはありだと思う。(委員)

⇒大友宗麟はシンボルになりやすいと思うが、大分市には宗麟に限らず、文化や芸術に関する人は他にもいる。あんまり宗麟をプッシュしすぎるのもどうかと思うが、過去の先哲の方を振り返ることがあってもいいのではと思う。(委員)

⇒大友宗麟や先哲の方々が、過去に偉大だったというだけでなく、大友宗麟が当時持った志なりやしたことなりを、今の大分市の置かれている状況に照らして、未来に向けてがんばろうといった、位置づけになるといいのでは。(委員)

⑭食文化も大分の特性ではないかと思う。また磯崎新建築や赤レンガ館といった建築文化も考えられる。また大友宗麟もキリスト教があったからこそ演劇があり音楽がありだったので、宗教文化というのも考える余地はあるのかなと思う。(委員)

⇒他都市で取り上げているところもあったが、手を広げすぎると収集がつかなくなるかもしれないということもあり、現時点では、食文化は外してはどうかと考えている。(事務局)

⇒磯崎新建築を見に来る人も全国からいるようであるし、建築文化は考えていきたい。(事務局)

⇒宗教文化に関しては、行政としては扱いきれない部分があり、切り離していきたいと考えている。摩崖仏のようなものについては文化財的な面からアクセスしようとは思っているが、仏教や密教といった宗教的な面からのアプローチはできないと考えている。(事務局)

⇒大きな項目として「食文化」を入れるのはいかがなものかと思うが、食文化も文化なので、芸術文化振興という立場で、大分市を発展させる魅力的なまちづくりという観点から、食文化を何らかの形で入れ込む必要はあるのではないかと思う。(委員)

⇒がんばっていく。(事務局)

⑮文化芸術の振興、というところで考えていくにあたり、やはり市民の生活の場面でどんなものがどういう風に文化として位置づけられていくか、というところがこのプランの中で重要な部分になるのではと思う。

最初からあまり狭めていくよりは、いろいろなものありで考えながら、文化振興プランに合っているのかどうか、といった観点で詰めていくような流れの方がいいと思う。(委員)

## 6. 各課からの発言のまとめ

### 【企画課】

幅が広いのでまとめるのが大変だと思うが、大分なりの計画ができればいいと考えている。

### 【市民協働推進課】

うちの課は地区公民館や市民活動・消費生活センターといった施設を所管しているので、この場に参加させていただいていると思っている。本課としては「市民協働によるまちづくり」を進めているので、いろんな市民や団体の文化や芸術活動もあると思うし、行政が進めている部分もあるので、官民一体となって文化芸術の振興に向けていくところもあると思っている。

### 【障害福祉課】

生活者の目線で見ながら一度広い分野でまとめてから、その中でどういうプランができるか考えた方がいいと思った。地域振興のためにプランの中でどういうことをうたっていくべきなのかは、委員会や庁内検討会議で十分に議論していくべきだと思っている。

### 【商工労政課】

商工労政課としては、アントレプレナーの提案事業として「トイレアート」がある。街なかの店舗や市内の芸術家とコラボして進めていき、3年後に芸術祭を開催することを目的にしている。こうした部分で参加させていただいている。

### 【観光課】

委員さんの話の中で大友宗麟やグルメの話が出た。観光課で大友宗麟の担当をしている。また食については「観光振興計画」が既があり、その中にグルメの話もある。文化芸術振興プランと、他の計画との整合性は取らないといけないとは考えている。

文化芸術振興には観光も大きく関わっているので、そういった観点から計画策定に取り組んでいきたい。

#### 【都市計画課】

都市計画課としては平成 17 年に大分市の「大分市都市景観計画」を策定しており、景観的な観点から今回の計画に参加している。警官の中の一つの芸術もあるのではないかと考えている部分も含め、活かしていければと考えている。

#### 【教育指導課】

大枠で国の学習指導要領に基づいて子どもたちを指導しているが、今は、地域の特色を生かした教育が求められている。大分市としては「郷土愛」「伝統文化」を子どもたちにいかに指導していくかという観点で教育に励んでいる。

特に文化的なものに関しては絡むものも多いので、心の教育の充実に向けた文化も大いにありうる、と同時に「知」の部分もあるので、皆さんの意見を聴きながら学校教育に置き換えているいろいろ考えていた。

#### 【スポーツ・健康教育課】

「スポーツ文化」の話が出ていたが、当課は学校スポーツ教育や生涯スポーツ教育といった、プロスポーツとはちょっとエリアが違うが、スポーツをどうするかといった議論は非常に参考になる。

#### 【生涯学習課】

当課は「生涯教育」「社会教育」「家庭教育」を主管し、芸術文化と非常に密接に関わっている。振興プランは大きなプランだと思っているが、当課としてどういった形でプラン策定に関わっていくことができるかをもう一度考え、生涯学習課の視点から発言し、プランに反映していければと考えている。

#### 【文化財課】

文化芸術振興プランには深く関わっていききたい。大友宗麟公をはじめ、いろんな施設も抱えている。今年 8 月には国際フォーラムを開催するので、改めて委員のみなさんにはご招待申し上げるが、その中で芸術や無形民俗文化財などいろいろなものを一度に見ることができるので 8/10 はぜひ予定に入れていただきたい。

#### 【美術振興課】

当課は優れた芸術文化の鑑賞の場の提供ということで、ピンポイントな公立施設だと思っている。県立美術館もできるなか、どのような意義付けをしながら、相互の連携し発展していけばいいかを考えているので、今回の文化芸術振興プランの中の「公立施設の役割」についてももう少し深く考えていければと思っている。